



Japan Display Inc.

2026年度 第1四半期
決算説明資料

2026年8月10日

株式会社 ジャパンディスプレイ



PersonalTech For A Better World

売上高

239億円

前年同期比：△85億円

EBITDA

△5億円

前年同期比：+76億円

純資産の額

36億円

前期末比：+110億円

■ 事業面

- 前期に取り組んだ構造改革の効果が発現し、収益性が大幅に改善
- 石川MULTI-FAB及び子会社Nanox Philippinesを活用し、地政学リスクへの対応力を強化
- バイオテクノロジー向けガラス基板の提供を開始。ディスプレイ技術を応用し、BEYOND DISPLAY戦略を加速

■ 財務面

- 第14回新株予約権の一部行使により、2026年6月末時点で債務超過を解消
- 2027年3月末時点での上場維持基準（純資産基準）適合に向け、財務基盤の強化を推進
- いちごトラストへの借入金140億円を返済し、FY26の支払利息は約17億円の削減を見込む



Japan Display Inc.

2026年度 第1四半期 業績報告

FY26 1Q会計期間 業績ハイライト

	FY25 1Q	FY26 1Q	YoY
(億円)			
売上高	324	239	-85
車載	262	192	-70
民生・産業機器	63	48	-15
EBITDA	△81	△5	+76
営業利益	△92	△12	+79
営業外収益	2	7	+5
営業外費用	△31	△28	+2
経常利益	△120	△33	+87
特別利益	0	3	+3
特別損失	△80	△1	+79
税引前四半期純利益	△200	△31	+168
四半期純利益	△203	△35	+168
(ご参考)			
平均為替レート (円/米ドル)	144.6	159.6	

売上高

茂原工場での生産終了影響等により減収

EBITDA/営業利益

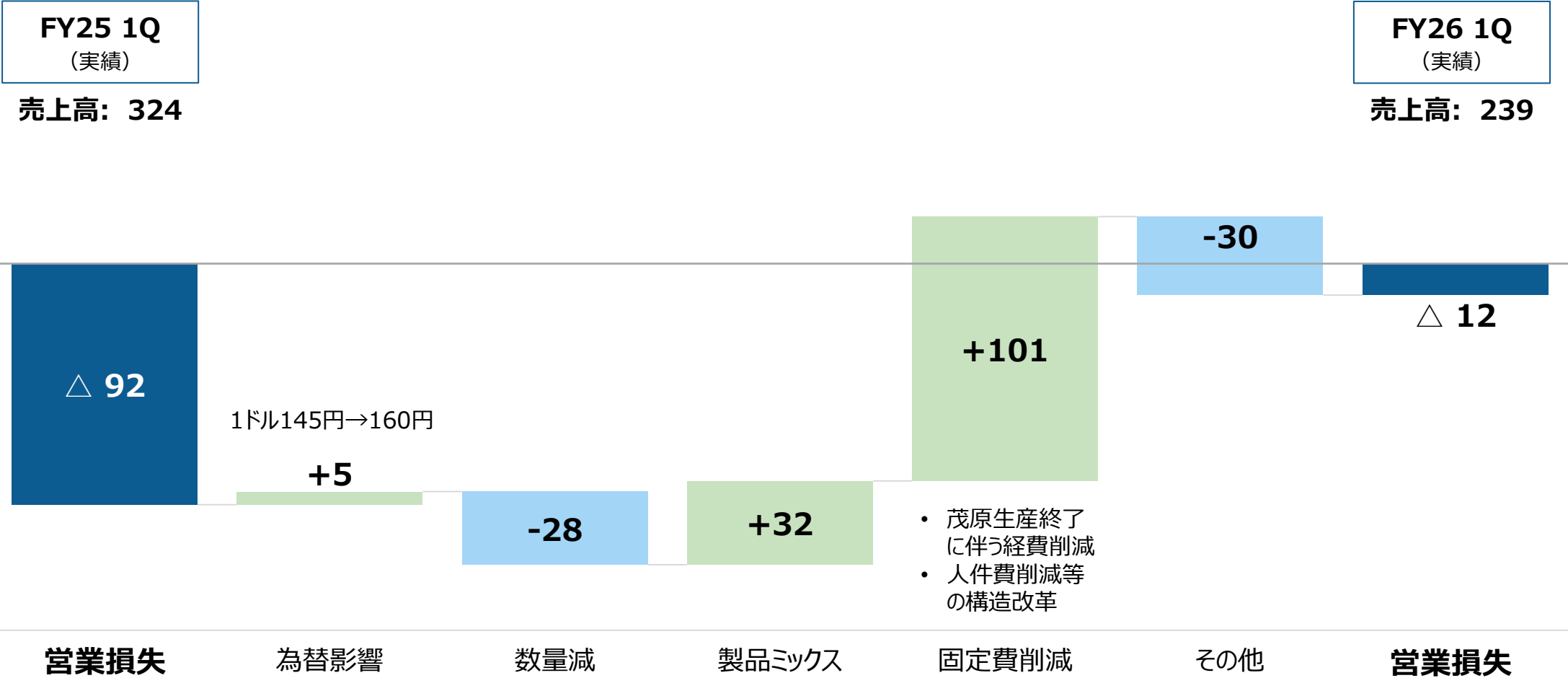
人件費削減や茂原工場での生産終了に伴う工場経費削減が進み収益性が大幅に改善

四半期純利益

前年同期に計上した事業構造改善費用（76億円）の剥落等により損失幅が縮小

前年同期比

(億円)



	FY25 期末	FY26 1Q末	前期末比
(億円)			
現金及び預金	278	206	-72
売掛金	179	113	-66
在庫	275	251	-24
その他流動資産	79	66	-13
流動資産合計	810	636	-175
固定資産合計	432	427	-5
資産合計	1,242	1,063	-180
買掛金	202	169	-33
有利子負債	663	523	-140
事業構造改善引当金	83	60	-23
その他負債	368	274	-93
負債合計	1,317	1,026	-290
純資産合計	△74	36	+110

有利子負債
借入金返済により減少

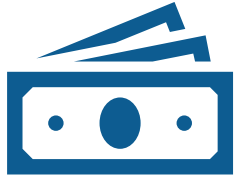
純資産
新株予約権の一部が行使され
債務超過解消



Japan Display Inc.

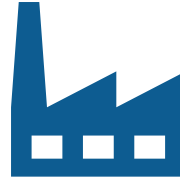
財務基盤強化の進捗

財務基盤の強化に向け、財務施策、資産売却及び収益改善を着実に推進



財務施策の実施

新株予約権の行使要請等を通じた資本増強、有利子負債の圧縮及び支払利息の低減を推進



保有資産の売却

茂原工場等の資産売却を通じ、財務基盤の強化を推進



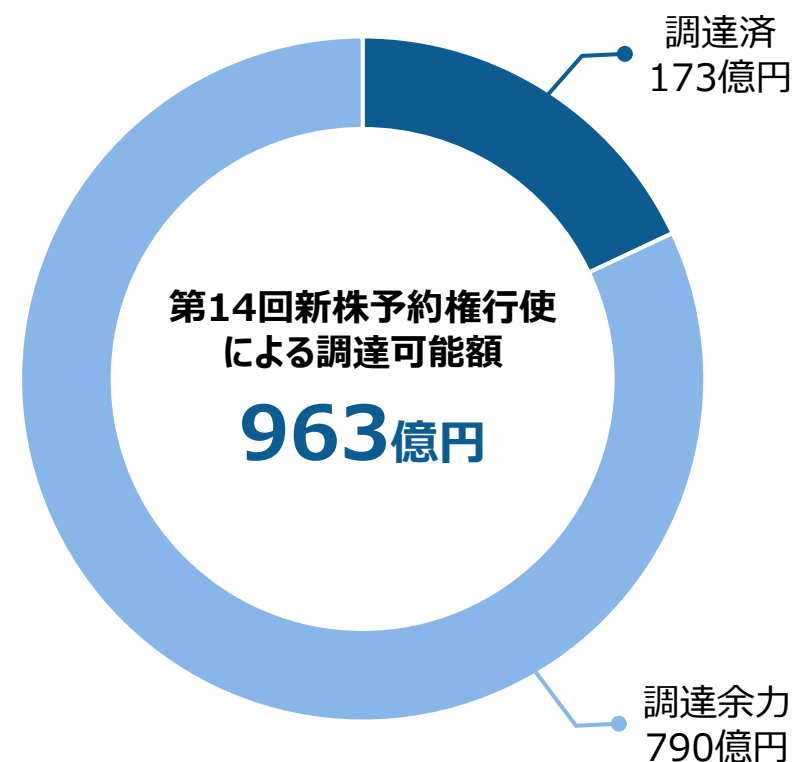
収益改善

構造改革を完遂すると共にBEYOND DISPLAY戦略を推進することにより、持続的な収益基盤を構築

いちごトラストによる新株予約権の一部行使により資本増強が進展 2026年6月末時点で債務超過を解消

総調達額 **173億円** (※)

いちごトラストとの良好な関係を維持しており、
今後も財務基盤強化及び円滑な資金調達
に向けた取組みを継続



(※) 総調達額173億円には2026年8月5日までの行使分を含む。当第1四半期における調達額は144億円。

■ 当社方針

保有資産の価値最大化を通じた財務体質改善

■ 現状

売却活動継続中

複数候補先との協議継続

**企業価値最大化の観点から
価格・条件・スキームを慎重に検討**

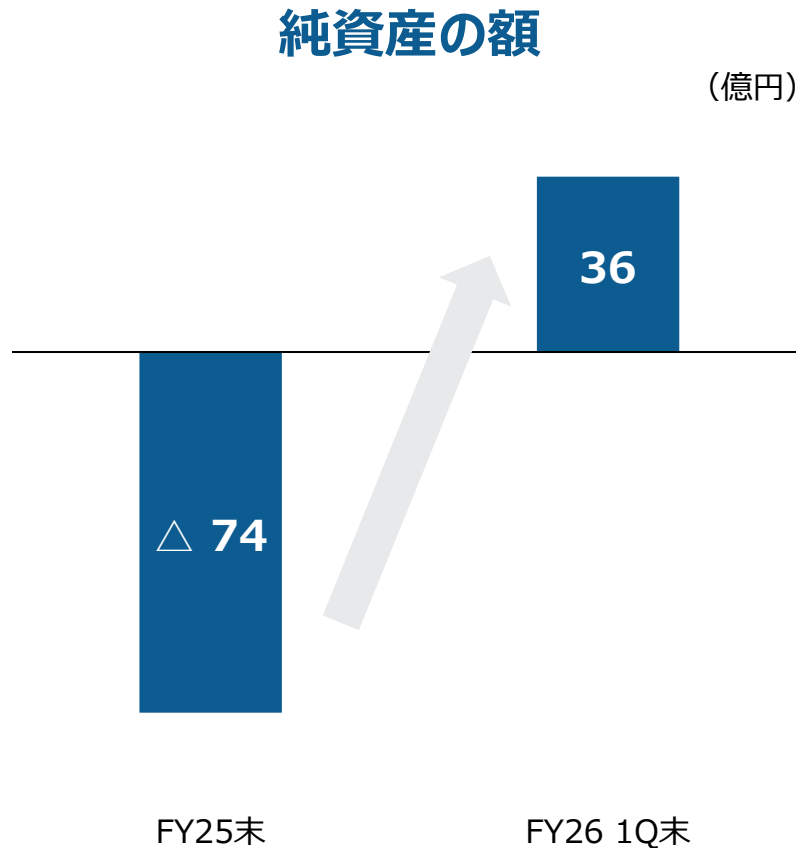




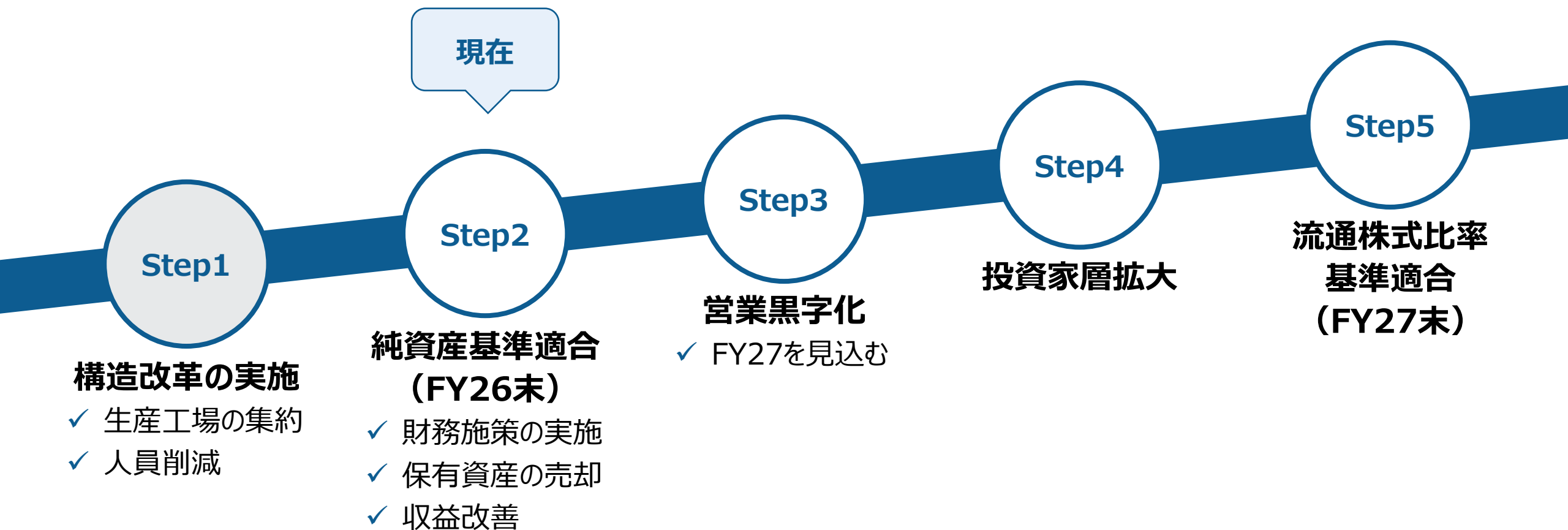
Japan Display Inc.

上場維持基準適合への取組み

2026年6月末時点で債務超過を解消 上場維持基準への適合に向け、財務基盤の強化を継続



- ✓ 前期末時点において、プライム市場の上場維持基準（純資産基準）に不適合
- ✓ 2027年3月末時点で債務超過の解消が必要
- ✓ 新株予約権の一部行使により、2026年6月末時点で債務超過を解消



- 財務状況の改善に向けた各種施策、並びに検討中の米国ディスプレイ事業の詳細や実施有無の影響を鑑み、FY26の業績予想は現時点で非開示
- 引き続き主要施策を着実に推進
 - 第14回新株予約権の追加行使要請等の財務施策
 - 茂原工場資産の譲渡
 - 米国ディスプレイ事業含む、BEYOND DISPLAY戦略の推進
- 営業黒字化はFY27を想定



Japan Display Inc.

BEYOND DISPLAY戦略の 進捗状況

グループ再編を通じて経営基盤を強化し、BEYOND DISPLAY戦略を加速

1

7月1日付の新体制

- ・ 全事業をCOO管掌へ集約
- ・ 開発・営業・品質の横断連携を強化

2

JDI Hong Kongの解散及び清算を決定

- ・ 海外販売拠点を再編
- ・ 固定費削減

3

JDI Design and Developmentの吸収合併

後工程を手掛けるNanox Philippinesの車載生産体制の整備を開始 地政学リスクに強い供給体制の構築を推進

供給体制の柔軟性

石川G4.5を用いた少量多品種 ニーズへの柔軟な対応

- ✓ 顧客別の仕様・数量ニーズへ対応
- ✓ 小回りの利く生産ライン

地政学リスクへの対応

供給オプションの拡大による リスクの分散

- ✓ Nanoxでの車載生産体制の整備を開始
- ✓ 特定地域に依存しない部品調達ルートを拡充

石川工場とNanoxを活用した新たな受注を複数件獲得

- 米国の主要顧客よりフル・ディスプレイ・ミラーを受注
- 米国の主要顧客よりHUDプラットフォーム機種を受注



高性能ディスプレイが求められる高付加価値民生機器用途と 品質・耐久性が重視される産業機器用途で採用を拡大

民生機器

高付加価値志向ユーザー向け
デジタルカメラ市場で独自技術を展開

- ✓ 高輝度時の低消費電力化が可能な独自技術 WhiteMagic®の進化
- ✓ 画質・表現力を重視する用途で好評

産業機器

品質・耐久性が重視される
市場で採用を拡大

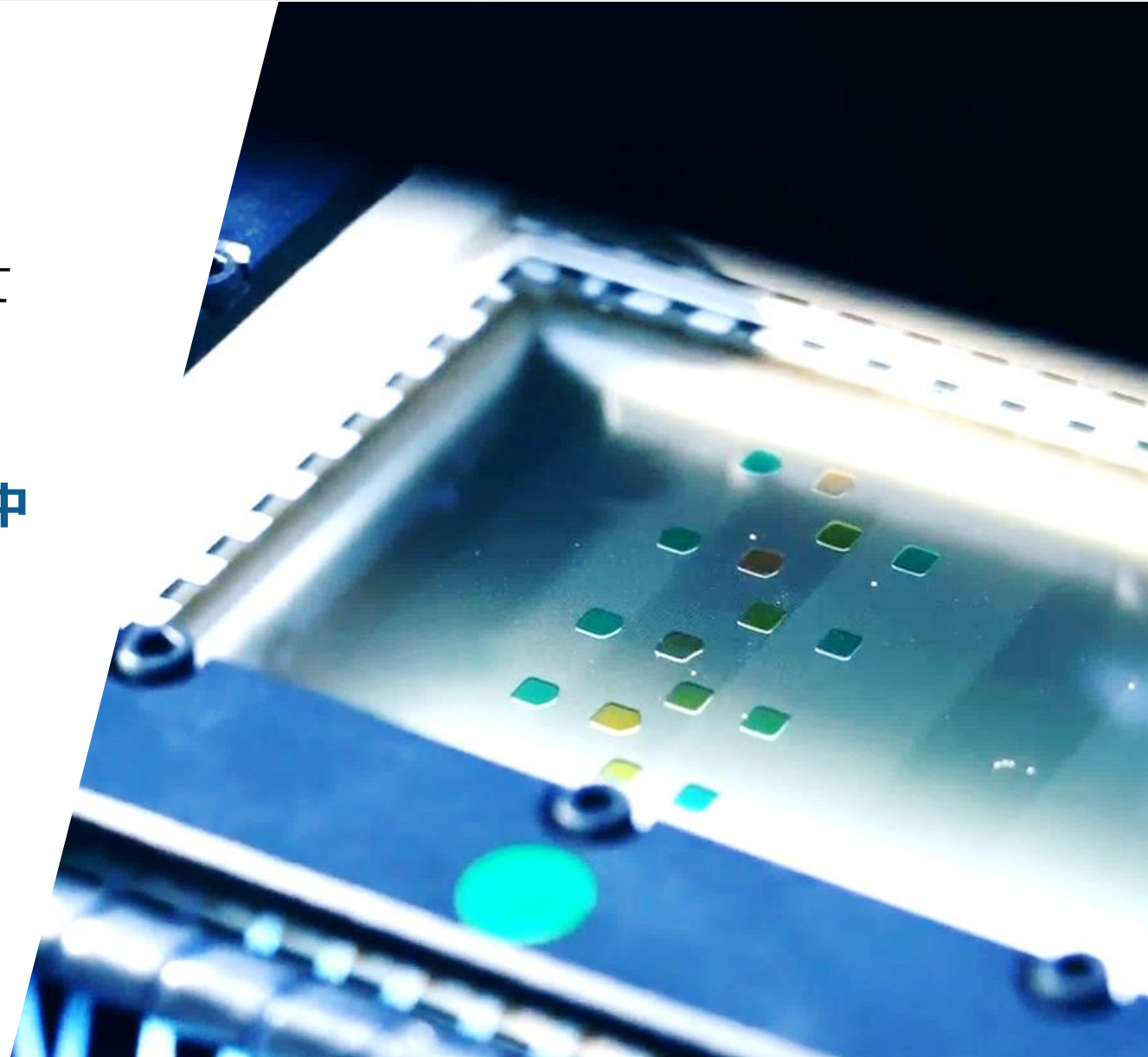
- ✓ 各産業分野における規格への対応
- ✓ カスタマイズ対応力を強みに顧客開拓を推進
- ✓ 防衛など機密性の高い特殊需要への対応

民生・産業機器市場で採用が拡大

- デジタルカメラ市場におけるトップシェアを維持*
- デジタルカメラ用途で新規顧客獲得
- 欧州鉄道向けディスプレイの新規採用が拡大

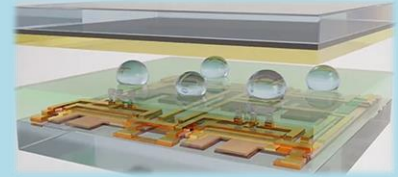


- **ディスプレイで培った技術をバイオ領域へ適用**
JDIバックプレーンを搭載したバイオ処理装置によって
検証・検査時間の大幅な短縮や効率化、省人化、
更には試薬コスト削減に貢献
- **FY26 2Q量産開始に向け最終準備を推進中**
- **創薬・遺伝子解析などの新市場へ展開**
感染症検査、臨床検査、創薬、
次世代シーケンシング、希少疾患・ゲノム解析など
バイオ関連業務の進化を推進

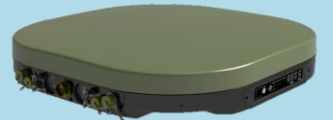


複数の案件で事業化に向けた取り組みが着実に前進

- 微量バイオ試料処理デバイス
CyteSi社とバックプレーンの共同開発・製造に関するMOUを締結
- ZINNSIA
2026年6月 初回量産出荷を開始
量産展開および用途拡大に向けた活動を推進
- 次世代衛星通信アンテナ
Kymeta社向けアンテナ基板の試作・出荷を実施
顧客評価を通じ量産承認取得に向けた開発を推進
- サーマルイメージングセンサー
Obsidian社のMEMSプロセスとJDIのTFTバックプレーンの統合は進展
高解像度IRセンサーの量産準備は、2027年半ばに向けて計画通り進捗



BPU向けバックプレーンイメージ図



Kymetaで量産されているアンテナ
「Osprey u8」現行モデル



一般カメラ

サーマルイメージング
センサー

FTSE Blossom Japan Indexに継続選定



FTSE Blossom
Japan Index

ESGへの継続的な取り組みが評価され、
FTSE Blossom Japan Index構成銘柄に4年連続選定



外部評価

ESG評価の
向上



投資家認知

ESG投資
指標に採用



持続的成長

社会価値と
株主価値を両立

JDI

BEYOND DISPLAY



Japan Display Inc.

Appendix

	FY25 1Q	FY26 1Q	YoY
(億円)			
税引前当期純利益	△200	△31	+168
運転資金の増減額	69	75	+6
事業構造改善費用の支払額	0	△31	-31
その他	31	△87	-118
営業キャッシュ・フロー	△100	△74	+25
固定資産の取得による支出	△1	△3	-2
資産売却に係る前受金	118	0	-118
その他	1	△2	-3
投資キャッシュ・フロー	118	△5	-123
短期借入金の純増減額	55	△140	-195
株式の発行による収入	0	144	+144
その他	△1	0	+0
財務キャッシュ・フロー	54	4	-51
当期末現預金残高	277	200	-77
フリー・キャッシュ・フロー	△101	△78	+23

発表日	プレスリリース
2026/8/5	<u>第14回新株予約権の一部行使のお知らせ</u>
2026/7/17	<u>連結子会社からの配当金受領に関するお知らせ</u>
2026/7/9	<u>香港子会社の解散及び清算のお知らせ</u>
2026/7/8	<u>FTSE Blossom Japan Indexの構成銘柄に継続選定</u>
2026/6/30	<u>上場維持基準への適合に向けた計画に基づく進捗状況について</u>
2026/6/30	<u>支配株主等に関する事項について</u>
2026/6/30	<u>2026年7月1日付の新体制について</u>
2026/6/25	<u>借入金の返済のお知らせ</u>
2026/6/25	<u>コーポレートガバナンス報告書を更新しました</u>
2026/6/24	<u>第24期定時株主総会及び普通株主様による種類株主総会における議決権行使結果のお知らせ</u>
2026/6/19	<u>第14回新株予約権の一部行使のお知らせ</u>
2026/6/5	<u>JDIとCyteSi、EWOD技術を活用した微量バイオ試料処理デバイス向けバックプレーンの開発・製造で合意</u>
2026/5/19	<u>借入金の返済のお知らせ</u>

※ その他のプレスリリースは当社ウェブサイトのニュースページをご参照ください。(<https://www.j-display.com/news/>)



THANK YOU

将来予測及び見通しに関して

本資料に記載される業界、市場動向または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、JDIがその真実性、正確性、合理性および網羅性について保証するものではありません。

また、本資料に記載されるJDIグループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点におけるJDIの判断又は考えにすぎず、実際のJDIグループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外の個人消費その他の経済情勢、為替動向、ディスプレイを搭載する電子機器の市場動向、主要取引先の経営方針、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。